2013 年 3 月期 （平成 25 年 3 月期）
中間決算報告　説明会資料
2012 年　10 月 31 日（水）

URL　http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/
証券コード　2897

日清食品ホールディングス株式会社

2013年3月期 中間決算報告 説明会資料 目次

		ｽﾗｲﾄﾞNO
2.	当グループを取り巻く環境	2
3.	2012年度 上期 決算概要（当グループの状況）	2
4.	2012年度 上期 累計業績概要 /連結	3
5.	営業利益 増減分析 /連結	3
6.	営業利益増減 /連結 - 1Q、2Q比較	4
7.	上期 セグメント別売上・営業利益	4
8.	営業利益 増減分析 /国内	5
9.	営業利益増減 /国内 - 1Q、2Q比較	5
10.	営業利益 増減分析 /海外	6
11.	営業利益増減 海外 - 1Q、2Q比較	6
12.	経常利益・四半期（当期）純利益 /連結	7
14.	国内即席めん事業（市場環境および当社状況）	8
15.	即席めん事業 - 日清食品	8
16.	即席めん事業 - 日清食品	9
17.	即席めん事業 - 日清食品	9
18.	即席めん事業 - 明星食品	10
19.	低温事業 - 日清食品チルド	10
20.	低温事業 - 日清食品冷凍	11
21.	低温事業 - 日清食品冷凍　日清食品冷凍G 市販用冷凍めんシェアNO.1へ	11
22.	国内その他事業会社 - 日清シスコ	12
23	国内その他事業会社 - 日清ヨーク	12
24.	国内その他事業会社 - 味の民芸フードサービス（他）	13
26.	米州地域	14
27.	中国地域	14
28.	アジア地域／欧州地域	15
29.	アジア地域 - RHQ-A 進捗状況	15
31.	2012年度 通期業績予想（連結）	16
32.	その他のお知らせ	17
		17

A. 補足資料

A 1.	連結損益計算書	20
A 2.	セグメント別売上（各事業会社の子会社(HDからは孫会社)を含む）	21
A 3.	セグメント別営業利益（各事業会社の子会社(HDからは孫会社)を含む）	21
A 4.	営業利益の増減要因　実績（2011/9 VS 2012/9）	22
A 5.	営業利益の増減要因　予想（2012/3 VS 2013/3（計画））	22
A 6.	為替レートの前提及び比較	22
A 7.	持分法投資損益（6ヵ月間）	22
A 8.	連結貸借対照表の増減	23
A 9.	主要経営指標	24

B. 即席めん業界資料

B 1.	国内即席めん類の総生産量推移（2002/3～2011/3：10年間）	26
B 2.	国内即席めん類の総生産数量・総生産額推移（2012/4～2012/9）	27
B 3.	世界の主要即席めん市場（2009-2011年度 ※1-12月期の集計）	28

ご説明は右上のスライド番号に従って進めさせて頂きます。

2013年3月期
上期決算報告
（2012年10月31日）

日清食品ホールディングス株式会社

（2897）

（資料の表記について）

- このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社HP「決算説明会資料」に掲載しています。
  http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/ir/library/article/index.html
- この資料の金額は、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等があわない場合があります。
- 国内事業会社は2012年4月1日～2013年3月31日を「2012年度」（当期）とします。
- 国内事業会社は2012年4月1日～2012年9月30日を「上期」とします。
- 海外エリアは2012年1月1日～2012年12月31日を「2012年度」（当期）とします。
- 海外エリアは2012年1月1日～2012年6月30日を「上期」とします。
- 売上・利益の「増減率」は決算短信と同じ±%表記を適用しています。
- 海外の関連会社の収益・費用は期中平均為替レートを適用しています。
- 「スライドNo.」は右上に付記しています。
- 「日清食品ホールディングス」を「日清食品HD」と略する時があります。

当グループを取り巻く環境

- 世界経済の減速懸念
- アジア圏経済の成長と中国経済の減速傾向
- 原材料・資材価格の高騰（小麦、とうもろこし、大豆、原油など）
- デフレの長期化（国内）
- 消費税増税法案通過（国内）
- TPP協議継続（国内）
- 少子高齢化と人口減少（国内）

2012年度　上期　決算概要　（当グループの状況）

- 連結経営成績
  - 上期実績：減収・減益　（対前期比）
- 国内即席めん事業
  - 日清食品：収益は計画ライン・袋めん新技術製品が売上を牽引
  - 明星食品：袋めん競争激化で減収・減益
- 国内事業会社
  - 日清食品冷凍、日清ヨーク、日清シスコ：売上好調
  - 日清食品チルド、味の民芸フードサービス：売上不調
- 海外事業
  - 米州：価格改定の効果、高付加価値商品の売上が寄与：増収・増益
  - 中国：都市部中間層の増加に伴い、主力カップめんの売上が好調：増収・増益
  - アジア：ベトナムへの新規参入
- M＆A他
  - 国内大手菓子メーカー「フレンテ」持分法適用会社化（第4四半期～）
  - トルコのパスタメーカーとの合弁事業開始

2012年度　上期　累計業績概要　/連結

（単位：億円）

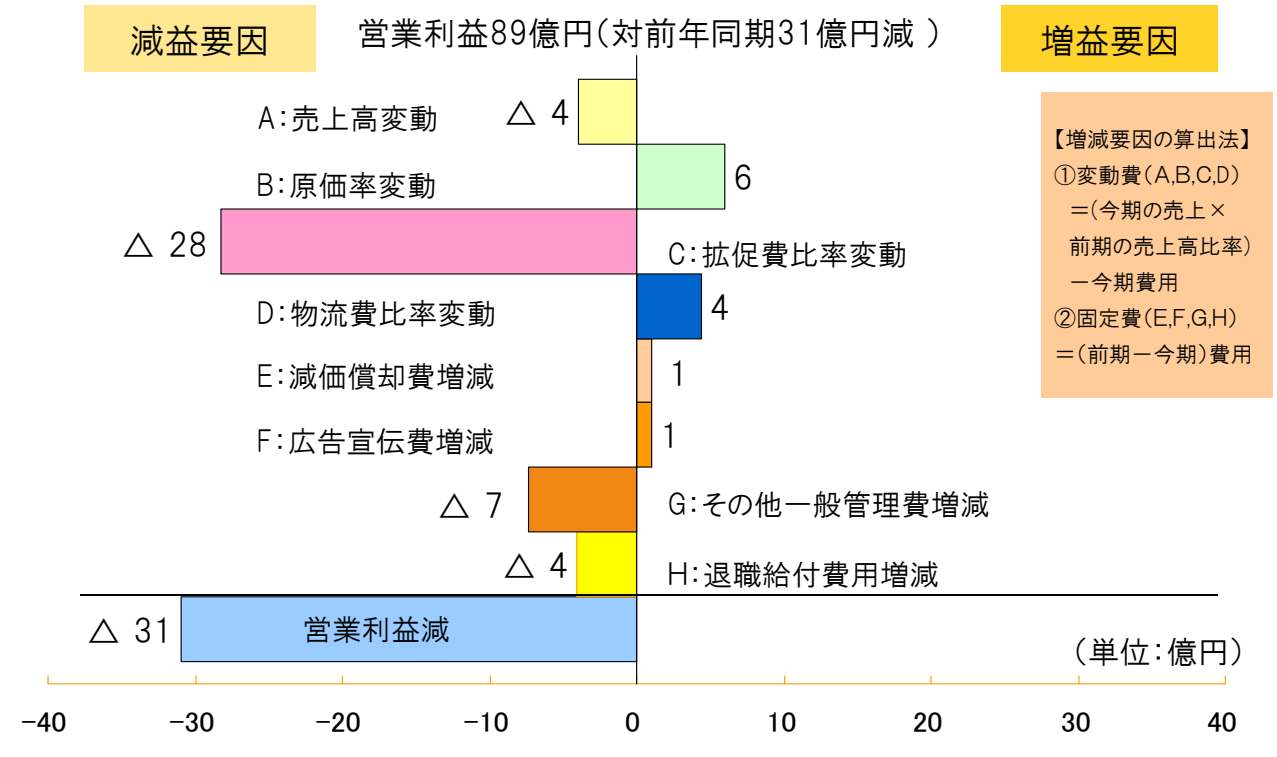
	2011年度（前年実績）	2012年度（事業計画）	2012年度（実績）	前年比		事業計画比	
				金額	率%	金額	率%
売上高	1,800	1,900	1,784	△ 16	△0.9%	△ 116	△6.1%
営業利益	120	95	89	△ 31	△26.1%	△ 6	△6.3%
（退職給付費用の影響除く）	120	99	93	△ 27	△22.7%	△6	△6.4%
経常利益	132	105	111	△ 21	△15.8%	6	6.0%
四半期純利益（累計）	106	70	62	△ 44	△41.6%	△ 8	△11.4%

主要為替レート

	2011/1～6	2012年度予想	2012/1～6
円/USD	82.04	78.00	79.74
円/HKD	10.54	10.00	10.28
円/CNY	12.54	12.00	12.63

※期中平均レートを使用しております。

営業利益　増減分析 /連結

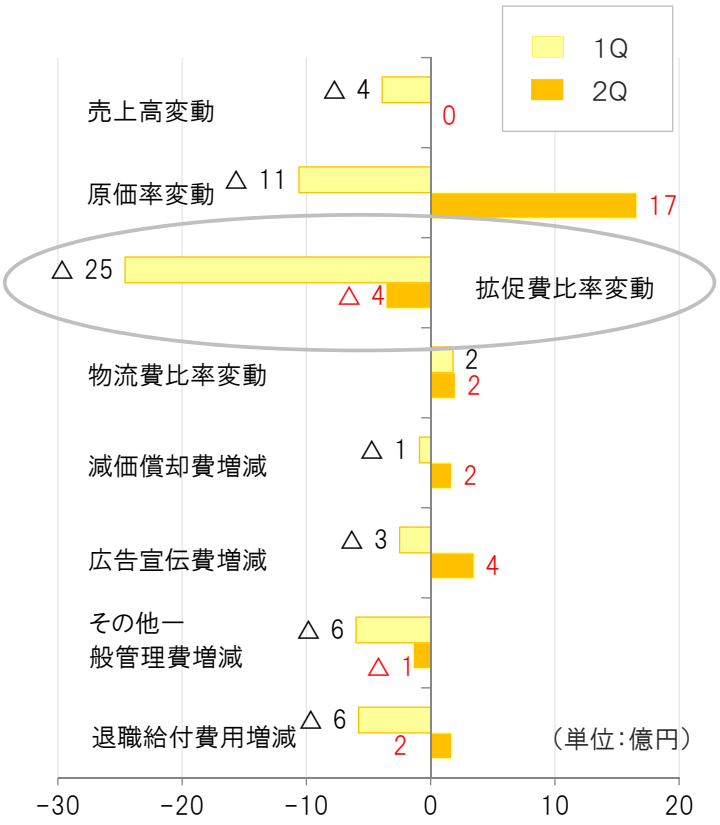


【増減要因の算出法】
①変動費（A,B,C,D）
＝（今期の売上×前期の売上高比率）－今期費用
②固定費（E,F,G,H）
＝（前期－今期）費用

営業利益増減 /連結 ー 1Q、2Q比較

営業利益増減(1Q, 2Q分解) (単位:億円)

	1Q	2Q	累計
前期営業利益	98	22	120
売上高変動	△ 4	△0	△ 4
原価率変動	△ 11	17	6
拡促費比率変動	△ 25	△ 4	△ 28
物流費比率変動	2	2	4
減価償却費増減	△ 1	2	1
広告宣伝費増減	△ 3	4	1
その他一般管理費増減	△ 6	△ 1	△ 7
退職給付費用影響額	△ 6	2	△ 4
営業利益増減	△ 53	21	△ 31
当期営業利益	46	43	89



上期 セグメント別売上・営業利益

(単位:億円)

事業分野	事業会社(孫会社含む)	2011年度		2012年度		売上増減		利益増減	
		売上	利益	売上	利益	金額	率(%)	金額	率(%)
即席めん事業	日清食品	895	98	888	85	△7	△0.8%	△14	△14.0%
	明星食品	202	15	190	6	△12	△5.9%	△9	△60.8%
低温事業	日清食品チルド/日清食品冷凍	270	9	260	3	△10	△3.6%	△7	△69.8%
その他事業	日清シスコ/日清ヨーク/味の民芸FS	173	8	175	4	+2	+1.2%	△4	△49.2%
その他	※1	8	6	13	1	+5	+72.3%	△5	△77.0%
国内 計		1,548	136	1,526	98	△22	△1.4%	△37	△27.5%
米州地域	米国日清/明星USA/メキシコ日清	122	△2	124	1	+2	+1.7%	+3	ー
中国地域	※2	93	4	101	12	+8	+8.9%	+8	+199.7%
アジア地域	日清シンガポール/インド日清	23	△1	19	△1	△4	△17.0%	△1	ー
欧州地域	ハンガリー日清/ドイツ日清	15	1	13	2	△1	△8.0%	+1	+39.2%
海外 計		253	3	258	13	+5	+2.1%	+11	+403.4%
調整額	※3		△18		△23			△5	ー
合計		1,800	120	1,784	89	△16	△0.9%	△31	△26.1%

※1 日清食品HD、日清ビジネスサポート、日清アセットマネジメント等

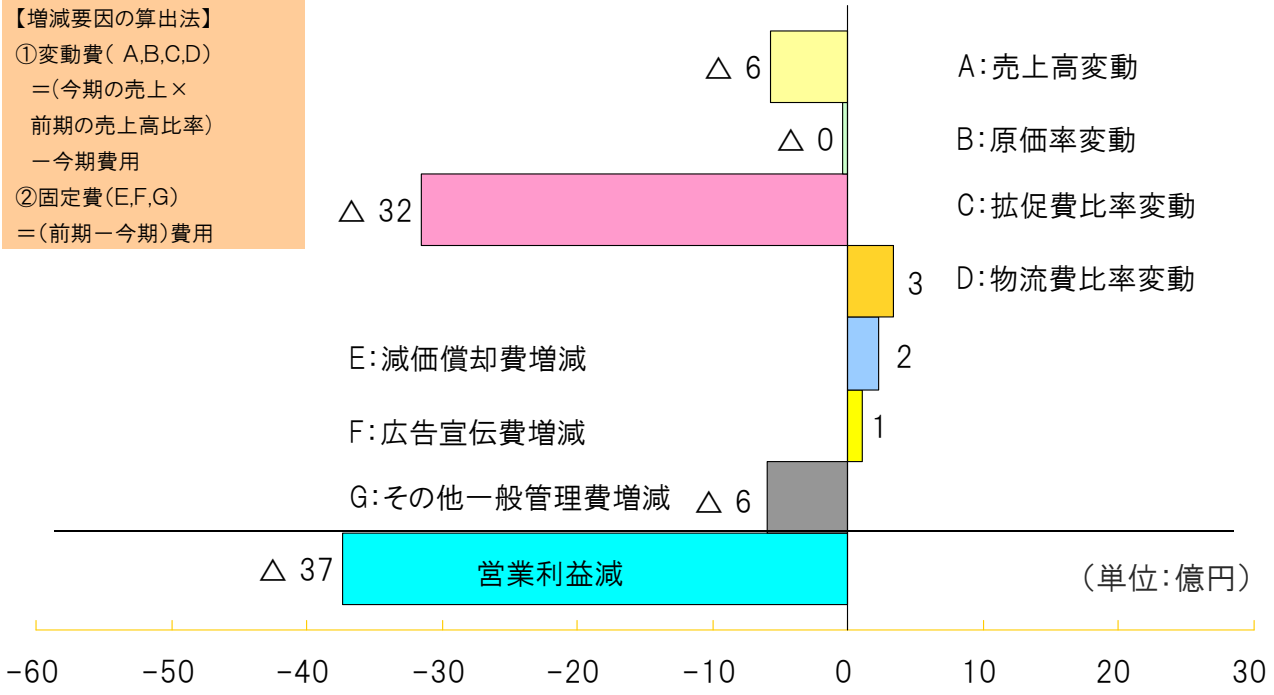
※2 香港日清、広東日清、永南食品、珠海永南食品、港永南食品、上海日清等

※3 退職給付費用による影響額、のれんの償却額、グループ共通費用及びセグメント間取引消去等は「調整額」に含めています。

営業利益　増減分析　/国内

減益要因　　営業利益98億円（対前期37億円減 ）　　増益要因

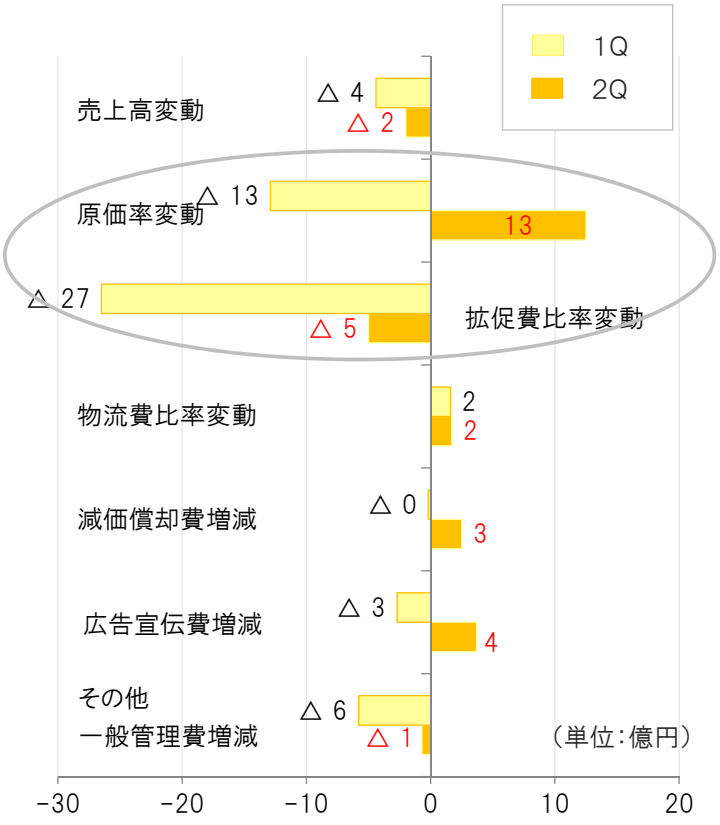
【増減要因の算出法】
①変動費（ A,B,C,D）
＝（今期の売上×
前期の売上高比率）
－今期費用
②固定費（E,F,G）
＝（前期－今期）費用



営業利益増減　/国内　－　1Q、2Q比較

営業利益増減（1Q，2Q分解）　（単位：億円）

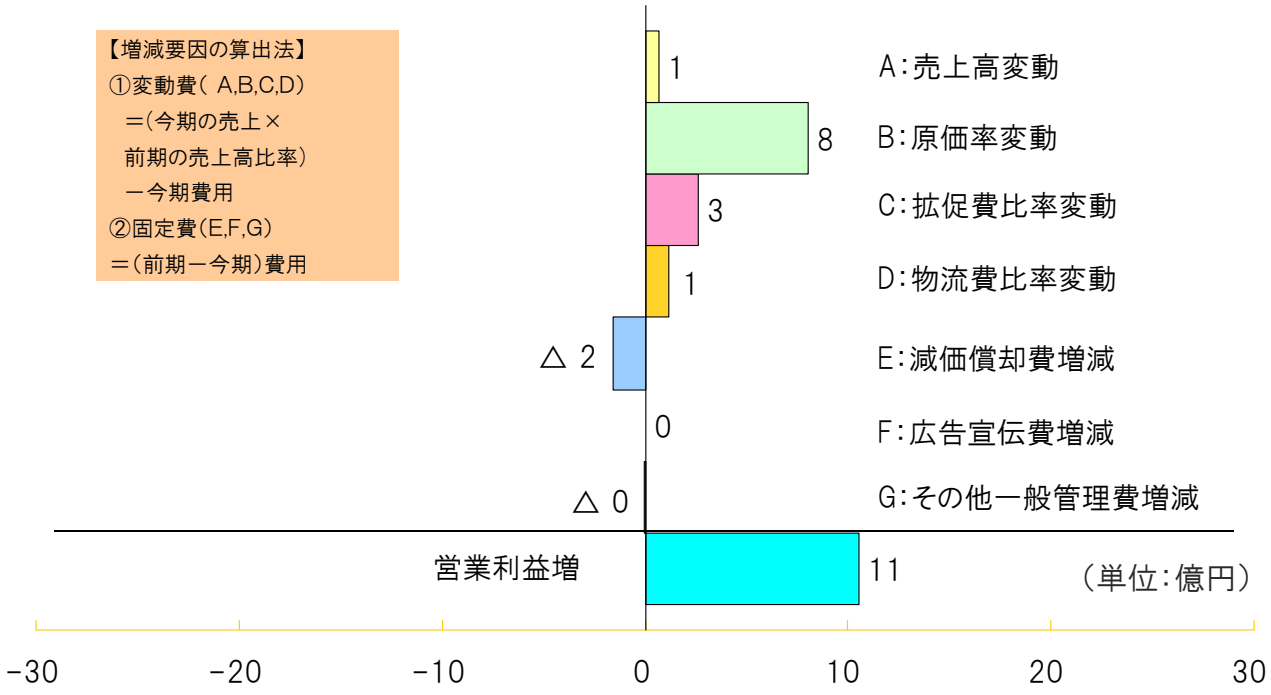
	1Q	2Q	累計
前期営業利益	100	36	136
売上高変動	△ 4	△ 2	△ 6
原価率変動	△ 13	13	△ 0
拡促費比率変動	△ 27	△ 5	△ 32
物流費比率変動	2	2	3
減価償却費増減	△ 0	3	2
広告宣伝費増減	△ 3	4	1
その他一般管理費増減	△ 6	△ 1	△ 6
営業利益増減	△ 51	14	△ 37
当期営業利益	49	50	98



営業利益　増減分析　/海外

減益要因　　営業利益13億円(対前期11億円増)　　増益要因

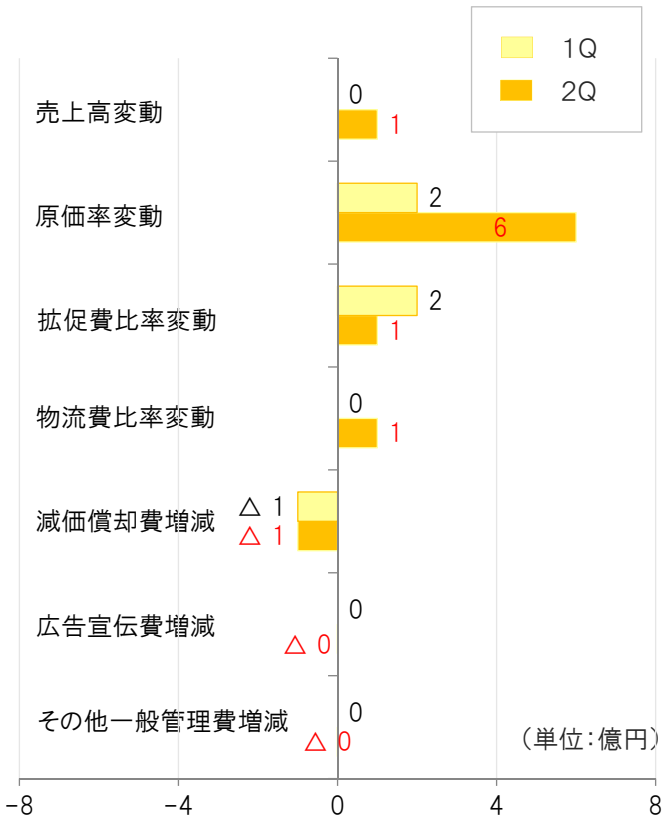
【増減要因の算出法】
①変動費(A,B,C,D)
＝(今期の売上×
前期の売上高比率)
－今期費用
②固定費(E,F,G)
＝(前期－今期)費用



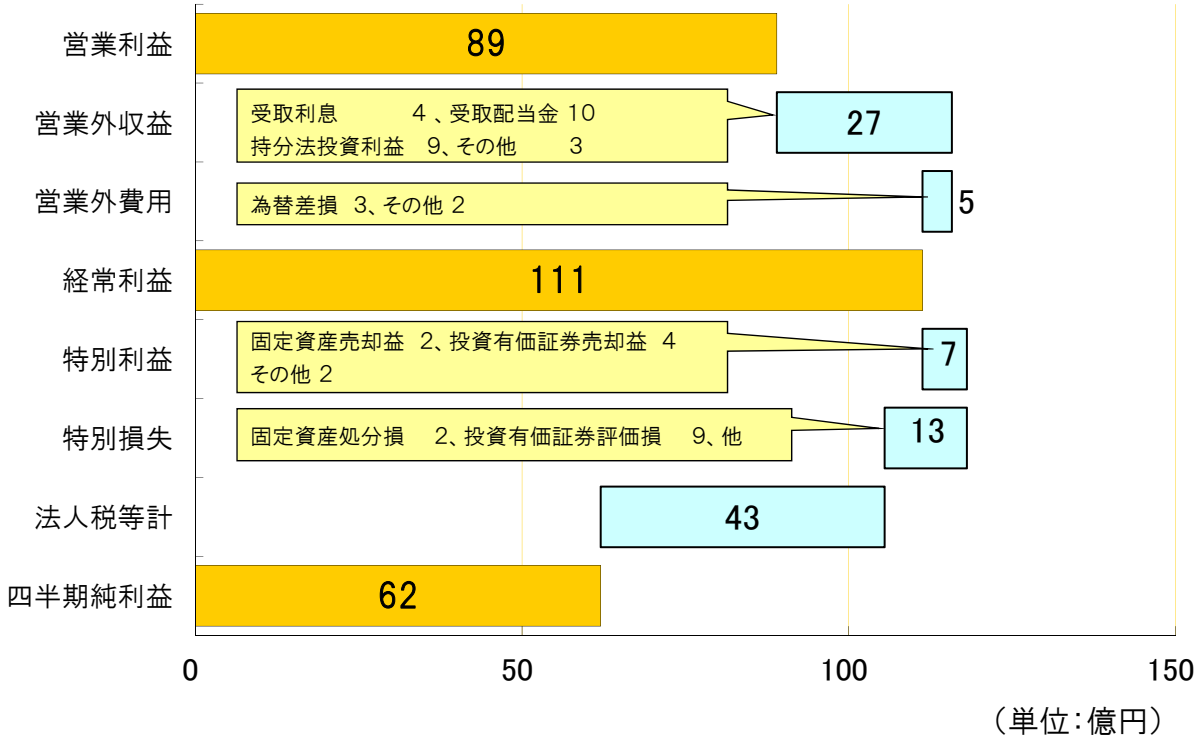
営業利益増減　/海外　－　1Q、2Q比較

営業利益増減(1Q, 2Q分解)　(単位:億円)

	1Q	2Q	累計
前期営業利益	4	△ 2	3
売上高変動	0	1	1
原価率変動	2	6	8
拡促費比率変動	2	1	3
物流費比率変動	0	1	1
減価償却費増減	△ 1	△ 1	△ 2
広告宣伝費増減	0	△ 0	0
その他一般管理費増減	0	△0	△0
営業利益増減	4	7	11
当期営業利益	8	5	13



経常利益･四半期(当期)純利益　/連結



(単位:億円)

国内事業

上期 － 状況

下期 － 方針

国内即席めん事業（市場環境および当社状況）

市場環境

- 昨年の震災影響の反動
- 原材料・資材価格の高騰（小麦、エビ、ダンボール等）
  （小麦価格の高騰の国内即席麺事業への影響は2013.1月以降）
- ゆるやかなデフレ基調継続
- 生産実績にみる需要動向（食数）
  4-9月（対前年比）　袋めん -11.5%、カップめん -3.3%　合計 -6.2%
  4-9月（対前々年比）　袋めん +0.4%、カップめん +3.4%　合計 +2.4%

当社状況

- 節電・暑さ対策の食べ方提案
- 昨年の震災影響の反動による利益減少
- 活況化する袋麺市場への対応（「日清のどん兵衛（袋）」、「日清のラ王（袋）」発売）
- 日清食品：
  カップめんは、ほぼ前年並みの売り上げをキープ。袋めんは前年超え。
- 明星食品：袋めんの売上ダウンにより減収・減益

即席めん事業 - 日清食品

■販売実績（昨対比）
連結売上 △0.8%　営業利益 △14.0%

■上期状況

昨年の震災影響の反動があったものの
前年並みの実績で着地

主力商品の状況

・カップヌードル群
「キング、ICEカップヌードル」効果で昨対比（＋）
・「どん兵衛」群・「焼そばU.F.O.」群好調で昨対比（＋）

新技術によるデファクトスタンダードの創造

・「日清麺職人」 昨対比（＋）
・「日清ラ王（カップ）」 昨対比（＋）
・「太麺堂々」昨対比（＋）

袋麺の状況

・競合商品の台頭により、既存品苦戦も
「日清のラ王（袋）」発売により、昨対比（＋）

セカンドライン商品の状況

・売上は前年割れするも、店頭価格はアップ

■下期方針

新技術によるデファクトスタンダードの創造

・日清の技術によって、誕生した「日清のラ王（袋）」
生産体制の構築により
年度内の全国展開を目指す。

・「1分湯切り」で作れる
BOX型1分焼そば「1ミニット」の
全国展開

消費者とのコミュニケーションによる絆づくり

・カップヌードル
REAL 「頑張れば、きっとおいしい。」 AKB48
SNS（Facebook、Google＋）
・チキンラーメン
SNS（Facebook）

麺好き集まれ! NOODLE PLUS

・消費者キャンペーンによる消費者の囲い込み。

カップヌードル

袋麺

どん兵衛

新価値商品による新市場の開拓

・「ごはん」シリーズの継続的販促提案

節電対策提案により需要を喚起！

ICEカップヌードルライト
ロゴ入りパッケージ

話題集中！夏場の喫食機会増加！

5～8月　カップヌードルライト群　前年比　2．5倍

麺の技術の革新

どん兵衛(袋)、ラ王(袋) 誕生！

麺の技術×鍋調理

麺の技術革新×煮込み

第4世代【3層太ストレートフライ麺】	第5世代【3層太ストレートノンフライ麺】

圧倒的な麺の「風味」「食感」

即席めん事業 － 明星食品

■販売実績（昨対比）
連結売上 △5.9%　営業利益 △60.8%

■上半期状況

袋めんの競争激化で
カップめん堅調も減収

土着マーケティングの推進

・九州エリアで展開の「チャルメラカップ」好調

評判屋カップ好調

・オープンプライスの
「評判屋」が好調

カップめんは前年実績を維持　±0%（昨対比）

・コラボ企画商品のヒット、「チョッパヤ」、「評判屋」の
ヒットなどで、「究麺」の減少をカバーし、
昨年並みの　実績を維持

袋めん苦戦　△20%（昨対比）

・大手3社の袋めん新製品の影響を受けて販促機会
が減少。袋めんは前年を下回った。

■下半期方針

土着マーケティングの継続

・地域に根差した商品開発と営業活動を継続
明星ファンの拡大につなげる。

袋めんの販促機会の創出

・「チャルメラ」の特売を中心に、販促機会を創出し、
売上ダウンに歯止めをかける

コラボ企画　第二弾

・上期、好調だったコラボ企画を11月に再実施

もっと「食」を動かそう。

低温事業 － 日清食品チルド

■市場環境　　（市場データは4-9月比較）
市販用チルドめん市場　-6.0%　/うどん 9.9%/ラーメン -8.1%/焼そば　-8.1%/冷し中華　-2.7%/そば +0.7%/パスタ -1.2%
※7月までの天候不順（冷し中華に影響）、9月下旬まで続いた残暑の影響（秋冬商材へ影響）
※主婦の手間軽減化に起因する調理済み惣菜への購入シフト、即席袋麺の活況の影響

■上期状況

チルド市場環境悪化の影響を受け減収

冷し中華の苦戦

・梅雨明けまでの天候不順による市場の低迷
・スーパー、CVS惣菜への顧客の流出

つけ麺ブームの一巡

・昨年まで絶好調だった「つけ麺」も成熟期に。
・売り場の縮小とともに販売は苦戦

新ジャンル商品の育成

・冷しても脂の固まらない新開発の
スープを使用した新製品を提案

「冷たいラーメンはじめました。」

・「太麺焼そば」が好調

■下期方針

ブランドの活性化および育成

・中価格帯に「中華三昧」をラインナップ

・イベント協賛と商品タイアップ

B-1グランプリ協賛
（ in 小倉）
大つけ麺博協賛
（東京・浜松町）

食シーン提案と健康志向商品の育成

朝食（たまごかけ）

夕食（鍋しゃぶ）

健康（減塩）

もっと「食」を動かそう。

低温事業 － 日清食品冷凍

■市場環境環境　　（市場データは4-9月比較）
市販用調理冷食　+2.5%　/　冷凍麺　+5.0%　/　米飯　+8.0%
※調理冷凍食品の伸びは、震災直後よりは鈍化しているが、今期も引き続き伸長。

■上期状況

市販用冷凍めん絶好調も、震災影響の反動もあり、前年並みの実績で着地

ALLジャンル・ALLプライス戦略の遂行

・冷凍スパゲティが売り上げを牽引
・冷凍めん全般

→電子レンジ調理対応による裾野の拡大

麺以外のカテゴリー育成

・米飯カテゴリーへの調整
「カップヌードルおにぎり」
「チキンラーメンおにぎり」発売
→　販売好調で休売

・「関西風お好み焼き」が好調

昨年の震災影響の反動で生協の共同購入苦戦

■下期方針

冷凍めんNO.1メーカーとしてのポジション確立

・ALLジャンル・ALLプライス戦略を継続して
ポジションを確固たるものにする。

米飯カテゴリーの市場定着

・販売再開
10.15～中部以西
11.1～　関東以北
「カップヌードルおにぎり」に集中し販売

重点アイテムの集中販売

低温事業 － 日清食品冷凍　　日清食品冷凍G　市販用冷凍めんシェアNO．1へ

市場トレンド

・個食市場の伸長　・内食化

グループシナジー

・グループ共通ブランドの活用

新たな価値の提案

電子レンジ調理

調理の簡便化

氷冠製法

品質と美味しさ

ALLジャンル・ALLプライス戦略

・全価格帯、全ジャンルでの冷凍麺売場を提案

冷凍麺市場規模・日清食品冷凍G売上規模推移

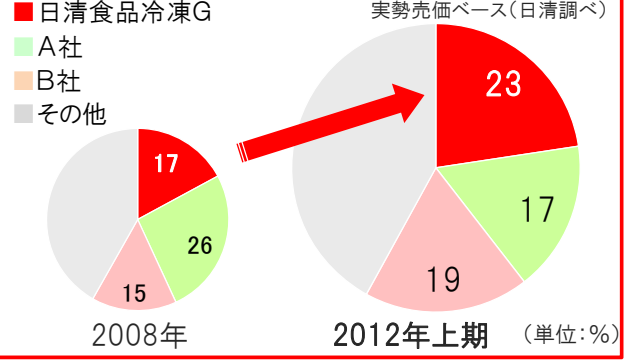
※2008年を100とした成長率（お弁当商品除く）　（%）

	2008年	2009年	2010年	2011年
市販用冷凍麺市場規模推移	100	101.1	106.8	113.2
日清食品冷凍G売上規模推移	100	109.2	118.5	129.0

2012年上半期（前年比）	冷凍麺市場規模推移	105.0
	日清食品冷凍G売上規模推移	106.1

実勢売価ベース（日清調べ）

日清食品冷凍G　市販用冷凍めんシェアNO．1へ



国内その他事業会社 – 日清シスコ

■市場環境

シリアル　＋7%（2012年推定）　コーンフレーク -2% / グラノーラ +32% / 米・小麦 +7% / 玄米・ブラン +2%

※グラノーラの成長が市場を大きく牽引

■上期状況

シリアル部門好調で増収

シスコーンブランドの好調で売り上げを牽引

・シリアルで歴史あるブランド「シスコーン」が売上を押し上げている

「シスコーン」は来年3月に、発売50周年を迎えます！

GooTa グラノーラ好調で売り上げを牽引

・昨年リニューアル発売した「GooTa」群が絶好調

菓子部門は前年割れ

・「ココナッツサブレ」など菓子部門は全般にマイナス

■下期方針

シリアルブランドの活性化

・子供むけシリアル「サクサクリング」の導入強化

・「GooTa」群の更なる定番強化

シリアル市場への新アイテム投入

「1日分の食物繊維」
「1日分の鉄分」を市場投入

健康志向に特化したアイテムを拡充

コーンフレーク売上　No.1

日清シスコのコーンフレークは国内売上シェアNo.1！
コーンフレークジャンルにおいてシスコーンBIGフロスト、マイルドチョコは年間を通じ　販売個数・販売金額　共に1位、2位を独占！　（2011年実績）

もっと「食」を動かそう。

国内その他事業会社 – 日清ヨーク

■市場環境

乳酸菌飲料市場　＋3%（市場データは4月-9月比較（推計））

■上期状況

震災影響の反動があったものの増収

昨年の震災影響の反動で「ピルクル」減収

・昨年は震災影響で大幅に売り上げをのばしたが、その反動で前年割れ
（前々年の実績並みに着地）

「ピルクル」は2013年に、発売20周年を迎えます！

十勝のむヨーグルト躍進

・発売エリアの拡大による増

・昨年の震災影響で発売できなかった「フルーツ」が今期は復活し、売り上げを牽引

■下期方針

65ml商品の品ぞろえ強化

はっ酵乳、乳酸菌カテゴリーの全カテゴリーに商品投入。カバー率のアップを目指す。

十勝のむヨーグルトの販売強化

・「プレーン」と「フルーツ」の効果的販売で、カバー率アップと実回転アップを果たす。

ピルクルの更なる拡販

大手取引先との取り組み強化

もっと「食」を動かそう。

国内その他事業会社 – 味の民芸フードサービス　（他）

■市場環境
ファミリーレストラン　4月 +4%　5月 +0%　6月 +3%　7月 -1%　8月 +3%
※昨年の震災影響の反動もあって、7月を除き、各月とも前年をクリア。外食産業全体も同様の傾向

■上半期状況

厳しい競争環境化の中、減収。

セットメニュー提案による客単価アップ

再来店施策の実施

DM　折込チラシ　のぼり・懸垂幕
夏季メニュー　夏休みプレゼント
お子様ドリンクパスポート　大抽選会

営業時間の延長

■下期方針

上期施策の継続

・メニュー単価見直しによる集客対策
・セットメニューの提案による客単価アップ
・再来店施策
DM　折込チラシ　のぼり・懸垂幕　夏季メニュー
夏休みプレゼント　お子様ドリンクパスポート　大抽選会

ポイントカードの還元方法の変更

その他トピックス

「CUPNOODLES MUSEUM」安藤百福発明記念館

来館オープン10カ月半で来館者100万人を達成！

「カップヌードルミュージアム」(横浜市中区新港2-3-4) は、昨年9月17日のオープン以来、約10か月半で来館者100万人を達成することができました。(2012年8月9日　100万人達成)

海外事業

上期 – 状況
下期 – 方針

米州地域

■市場環境

アメリカ：総需要 40億食　一人当たり消費量 13.0食/年 （2011年データ）
メキシコ ：総需要 8.5億食　一人当たり消費量 7.5食/年 （2011年データ）

■販売実績（昨対比）
連結：売上 ＋1.7%　営業利益 （ ＋ ）

■上期状況

北米市場値上げ効果で増収・増益

【アメリカ】

TOP RAMEN/CUP NOODLES

昨年は値上げ前の駆け込み需要が発生。そのため
食数ベースでは販売は厳しかったが、金額は前年クリア

BIG CUP NOODLES/CHOW MEIN

新フレーバーの導入で、「BIG CUP NOODLES」販売好調
「CHOW MEIN」も堅調に伸長し、前期比プラスで推移

【メキシコ】

1月からの値上げが奏功し売上アップ

「MAXI」は安定した販売状況
既存品の売上も食数ベースでも昨対比＋7%と好調

■下期方針

【アメリカ】

TOP RAMEN/CUP NOODLES

ロングセラー商品である
「TOP RAMEN」「CUP NOODLES」
の販促強化。

BIG CUP NOODLES/CHOW MEIN

好調な「BIG CUP NOODLES」「CHOW MEIN」
は販促を継続し、高付加価値
商品の比率を引き上げ。

【メキシコ】

MAXIの定着化

市場への定着化を優先に取り組み。

南部市場の活性化

中国地域

■市場環境

中国 ： 総需要 425億食　一人当たり消費量 31.5食/年　　（2011年データ）
（香港） 日清食品が圧倒的なシェアを誇る地域　一人当たりGDP32千ドル　　（2011年データ）
（大陸） 都市部を中心に高単価商品が売れ始めている。 一人当たりGDP4.3千ドル　　（2011年データ）

■販売実績（昨対比）
連結：売上 ＋8.9%　営業利益 ＋199.7%

■上期状況

カップヌードル好調で増収・増益

【香港】

「出前一丁」の売上拡大

選択と集中により「出前一丁」ブランドが
袋麺、カップ麺ともに大幅増。

【大陸】

「カップヌードル（合味道、開杯楽）」の売上拡大

大都市を中心に
「カップヌードル」が大幅増

■下期方針

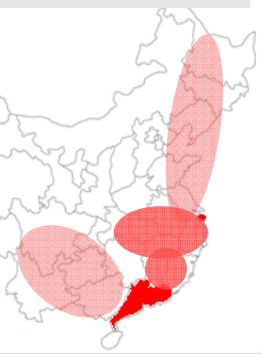
好調カップヌードルの販促強化

中所得者層の増加と共に2010年から
売上が急上昇したカップヌードルに
経営資源を集中し、売上の拡大及び
収益力の向上を目指す。

300万人都市へのエリア拡大

中国の300万人都市　60市

各地への情報発信元となる
大都市を対象として、営業網
を拡大。
売上の拡大と中国における
プレゼンスの拡大を目指す。



アジア地域／欧州地域

アジア地域

■市場環境

シンガポール：総需要 1.3億食　一人当たり消費量 25.6食/年　一人あたりGDP 43千ドル 消費力の高いエリア　（2011年データ）
インド：総需要 35億食　一人当たり消費量 2.9食/年　一人あたりGDP 1.4千ドル　これからの成長が期待できるエリア（2011年データ）

■販売実績（昨対比）
連結：売上 △17.0%　営業利益（ ー ）

■上期状況

ベトナム市場へ新規参入

【シンガポール】
「カップヌードル」、「明星チキンタンメン」、「出前一丁」が好調トップシェアを誇る

【インド】
新規企業の参入により、競争激化。

■下期方針

【インド】
地域的に選択と集中を徹底。
リニューアルしたTOP RAMENの販促を集中エリアで徹底し、シェアの再拡大を目指す

【ベトナム】
ノンフライの新商品をテコに日清のブランドイメージを強化。
販売数を拡大するとともに、更なる飛躍に向けた基盤を作る。

【タイ】
来期頭に工場を稼働予定

欧州地域

■販売実績（昨対比）
連結：売上 △8.0%　営業利益 ＋39.2%

アジア地域　－RHQ-A　進捗状況

世界最先端の麺技術で成長市場を開拓　ベトナム日清　ビンズン工場竣工

【ベトナムの市場性】

即席麺の消費量：49億食（2011年度）
※中国、インドネシア、日本に次ぐ世界4位の市場
人口：8,600万人（平均年齢 27.8歳　約60%が30歳以下）

【事業展開】

（ベトナムの国民性）
・健康や食の安全性に対する意識が高く、食を「陰と陽」に分け、このバランスに注意を払う国民性
・麺質（歯ごたえや弾力性）への強いこだわり

①日清食品グループの技術力
（ジャパンテクノロジー）
②日本市場で培ったマーケティング力
③日本市場で培った開発力

①ノンフライめん
②現地有名料理研究家の監修

RHQ-A（Regional Headquarters of Asia）

【新工場の概要】

（1）所　在　地　：VSIP2,Tan Uyen District,Binh,Duong Province,Vietnam
（2）稼　　働　：2012年7月
（3）設備投資額　：約24億円
（4）生産品目　：袋麺
（5）敷地面積　：60,000㎡
（6）工場延床面積：31,809.5㎡

【商　品】

商品ブランド：「NISSIN」
湯かけタイプの袋麺
価格：5,000ドン（約19円）

①Tom ChuaCay
②Ga Rau Ram
③Bo Sot Tieu Cay

①えび風味

②チキンベース

③ビーフベース

2012年度　通期業績予想（連結）

	2011年度（2012年3月期）	2012年度（2013年3月期）		増減	
		上期実績	通期予想	金額	率%
売上高	3,807	1,784	4,000	＋198	＋5.1%
営業利益	262	89	270	＋8	＋3.0%
（退職給付費用の影響除く）	268	93	278	＋10	＋3.6%
経常利益	281	111	300	＋19	＋6.8%
四半期純利益（累計）	185	62	190	＋5	＋2.5%

主要為替レート

	2011/1~2011/12	2012/1～6	2012年度予想
円/USD	79.84	79.74	78.00
円/HKD	10.26	10.28	10.00
円/CNY	12.35	12.63	12.00

※期中平均レートを使用しております。

その他のお知らせ

今麦郎グループ新会社への出資に関して

2012.4.17発

中国におけるパートナー企業である、今麦郎食品有限公司および河北今麦郎紙品有限公司が共同出資して設立した「今麦郎日清食品有限公司」に出資。

第一回出資(2012年4月17日)
　500百万元(65.2億円)　出資持分比率14.29%
第二回出資(2012年度中(予定))
　510百万元(66.5億円)　出資持分比率33.4%※

※すでに今麦郎食品、河北今麦郎に出資している14.93%相当額の出資も、新会社に引き継ぐ予定。

【国際協力機構(JICA)との「協力準備調査」に関する契約締結について】

2012.10.3発

JICAと「協力準備調査」に関する契約を締結。
バングラデシュにおけるBOPビジネスの事業化の調査を実施

【「日清味の素アリメントス」の新工場竣工について】

11月中旬に新工場が竣工
※ブラジル北東部　ペルナンブーコ州

株式会社フレンテの株式取得に関して

2012.5.21発

フレンテ株式を追加取得し
発行済株式数5.03%から20%に引き上げ、持分法適用会社化

・第三者割当による新株653,000株の引受
・主要株主から44,500株を取得

※2012年8月21日完了
※2013.3月期の第4四半期より持分法損益が寄与

トルコ共和国でのパスタ及び即席麺の合弁事業開始

2012.7.24発

トルコ共和国において、同国最大の消費財メーカーグループである「YILDIZ HOLDING A.S.」(所在地:イスタンブール)傘下のパスタメーカー「BELLINI GIDA SANAYI A.S.」社の株式50%を取得してトルコでパスタ及び即席麺事業を開始。
株式を取得した時点で「NISSIN YILDIZ GIDA SANAYI VE TICARET A.S.」と社名を変更し、連結子会社化。

株式取得:発行済株式50%　23.5百万米ドル
今後の増資に関して:2012年中に増資　合計15百万米ドル
　(当社:7.5百万米ドル/YILDIZ:7.5百万米ドル)

合弁事業の日程:
　2012年10月　　株主間契約書、株式譲渡契約書締結
　2013年4月(予定)　即席めん事業開始

もっと「食」を動かそう。

NISSIN GROUP

日清食品グループ

2012年度（2013年3月期）

中間決算

A.補足資料　目次

					ﾍﾟｰｼﾞ
	A　1		連結損益計算書		20
	A　2		セグメント別売上（各事業会社の子会社（HDからは孫会社）を含む）		21
	A　3		セグメント別営業利益（各事業会社の子会社（HDからは孫会社）を含む）		21
	A　4		営業利益の増減要因 実績（2011/9 VS 2012/9）		22
	A　5		営業利益の増減要因 予想（2012/3 VS 2013/3(計画)）		22
	A　6		為替レートの前提及び比較		22
	A　7		持分法投資損益（6ヵ月間実績 ）		22
	A　8		連結貸借対照表の増減		23
	A　9		主要経営指標		24

2012年9月期=日本の事業会社：2012年4月～2012年9月の6ヵ月間
=海外の事業会社：2012年1月～2012年6月の6ヵ月間

A 1		連結損益計算書		

1 連結損益計算書

単位:億円

項目		2011/9(6カ月間)		2012/9(6カ月間)		前年比%
		金額	売上比	金額	売上比	
1	売上高	1,800	100.0%	1,784	100.0%	△0.9%
	売上原価	1,017	56.5%	1,002	56.2%	△1.5%
	退職給付費用影響額(原価分)	△ 0	△0.0%	1	0.1%	―
2	売上原価計	1,017	56.5%	1,003	56.2%	△1.3%
3	売上総利益	784	43.5%	781	43.8%	△0.3%
販管費	拡促費	294	16.3%	319	17.9%	8.7%
	広告宣伝費	57	3.1%	55	3.1%	△1.9%
	物流費	111	6.2%	106	5.9%	△4.9%
	退職給付費用影響額(販管費)	△ 0	△0.0%	2	0.1%	―
	一般経費	202	11.2%	209	11.7%	3.5%
4	販管費計	663	36.8%	692	38.8%	4.3%
5	営業利益	120	6.7%	89	5.0%	△26.1%
営業外収支	受取利息	4	―	4	―	―
	受取配当金	9	―	10	―	―
	持分法投資損益	2	―	9	―	―
	為替差損益	△ 3	―	△ 3	―	―
	その他	△ 0	―	1	―	―
6	営業外収支	12	0.6%	22	1.2%	88.4%
7	経常利益	132	7.3%	111	6.2%	△15.8%
特別収支	厚生年金基金代行返上益	54	―	―	―	―
	固定資産処分損益	1	―	△ 0	―	―
	投資有価証券売却益	―	―	4	―	―
	投資有価証券評価損	△ 0	―	△ 9	―	―
	その他	0	―	0	―	―
8	特別収支	55	3.1%	△ 6	△0.3%	―
9	税金等調整前四半期純利益	187	10.4%	106	5.9%	△43.5%
10	法人税等計	80	4.4%	43	2.4%	△46.3%
11	少数株主利益	1	0.1%	1	0.0%	△31.0%
12	四半期純利益	106	5.9%	62	3.5%	△41.6%
13	包括利益	131	―	71	―	△45.8%

2013/3 計画(12カ月間)			
	上期	下期	通期
売上高	1,900	2,100	4,000
営業利益	95	175	270
経常利益	105	195	300
当期純利益	70	120	190

2012/3 実績(12カ月間)			
	上期	下期	通期
売上高	1,800	2,006	3,807
営業利益	120	142	262
経常利益	132	149	281
当期純利益	106	79	185

※記載金額につきましては、億円未満を四捨五入して表示しております。増減額については、百万円単位で差引きし億円未満を四捨五入しております。

※増減率については、千円単位で算出し小数点第2位を四捨五入しております。

	A 2･3		セグメント別売上、営業利益		

2 セグメント別売上（各事業会社の子会社（HDからは孫会社）を含む）　　単位：億円

	事業概要	2012/3月期					2013/3月期					今期計画	1Q～2Q前年比
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		
日清食品	即席めん	448	447	589	509	1,993	440	448				2,077	△0.8%
明星食品	即席めん	105	97	111	107	420	102	88				429	△5.9%
日清食品ﾁﾙﾄﾞ	チルド	132	137	138	127	534	129	131				544	△3.6%
日清食品冷凍	冷食												
日清シスコ	菓子	91	82	81	81	334	88	87				354	1.2%
日清ヨーク	飲料												
味の民芸	外食												
国内その他		3	4	6	6	20	7	6				28	72.3%
国内　計		780	768	925	829	3,302	765	761				3,433	△1.4%
米州地域	即席めん	63	59	60	63	244	64	60				267	1.7%
中国地域	即席めん	49	44	47	47	187	51	50				216	8.9%
アジア地域	即席めん	11	12	12	10	45	10	10				54	△17.0%
欧州地域	即席めん	7	7	7	7	29	7	6				32	△8.0%
海外　計		131	122	126	127	505	131	126				568	2.1%
ｸﾞﾙｰﾌﾟ計		911	889	1,051	956	3,807	896	888				4,000	△0.9%

3 セグメント別営業利益（各事業会社の子会社（HDからは孫会社）を含む）　　単位：億円

	事業概要	2012/3月期					2013/3月期					今期計画	1Q～2Q前年比
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		
日清食品	即席めん	71	28	84	52	235	41	43				236	△14.0%
明星食品	即席めん	13	2	8	5	28	5	0				26	△60.8%
日清食品ﾁﾙﾄﾞ	チルド	6	3	6	1	16	1	2				19	△69.8%
日清食品冷凍	冷食												
日清シスコ	菓子	6	2	△ 0	1	8	1	3				13	△49.2%
日清ヨーク	飲料												
味の民芸	外食												
国内その他		4	2	2	4	12	△ 0	2				9	△77.0%
国内　計		100	36	99	63	298	49	50				303	△27.5%
米州地域	即席めん	1	△ 3	△ 2	0	△ 3	1	0				2	―
中国地域	即席めん	3	1	3	4	10	7	5				13	199.7%
アジア地域	即席めん	△ 0	△ 1	△ 1	△ 0	△ 2	△ 1	△ 1				△ 5	―
欧州地域	即席めん	1	1	1	0	3	1	1				2	39.2%
海外　計		4	△ 2	1	4	8	8	5				12	403.4%
年金費用		4	△ 4	△ 3	△ 3	△ 6	△ 2	△ 2				△ 8	―
ｸﾞﾙｰﾌﾟ共通費用		△ 7	△ 7	△ 7	△ 7	△ 30	△ 8	△ 8				△ 30	―
のれん等調整		△ 2	△ 1	△ 2	△ 3	△ 8	△ 1	△ 2				△ 8	―
ｸﾞﾙｰﾌﾟ計		98	22	88	54	262	46	43				270	△26.1%

※　今期より、日清食品セグメントで計上していたグループ共通費用の配分方法を変更し、調整額の共通費用としております。

A 4・5・6・7	営業利益の増減要因実績、営業利益の増減要因予想、為替レートの前提及び比較、持分法投資損益		

4 営業利益の増減要因 実績 （2011/9 VS 2012/9 「6ヶ月間」） 単位:億円

	2011/9 営業利益	変動費				固定費				営業利益増減計	2012/9 営業利益
		売上高変動	原価率変動	拡促費比率変動	物流費比率変動	減価償却費 増減	広告宣伝費 増減	一般管理費 増減	退職給付影響額		
国内 計	136	△ 6	△ 0	△ 32	3	2	1	△ 6	−	△ 37	98
海外 計	3	1	8	3	1	△ 2	0	△ 0	−	11	13
調整額	△ 18	1	△ 2	1	△ 0	−	−	△ 1	△ 4	△ 5	△ 22
※ 計	120	△ 4	6	△ 28	4	1	1	△ 7	△ 4	△ 31	89

※ 分析手法が前期との率による比較のため、各セグメントの利益の増減要因の変動費と小計(国内・海外)・総計は一致しません。
従いまして「調整額」を加味しています。

5 営業利益の増減要因 予想 （2012/3 VS 2013/3（12ヶ月間計画）） 単位:億円

	2012/3 営業利益	変動費				固定費				営業利益増減計	2013/3 営業利益
		売上高変動	原価率変動	拡促費比率変動	物流費比率変動	減価償却費 増減	広告宣伝費 増減	一般管理費 増減	退職給付影響額		
国内 計	298	34	0	△ 22	1	7	△ 2	△ 13		5	303
海外 計	8	8	5	△ 2	3	△ 3	0	△ 6		5	12
調整額	△ 44	4	△ 4	△ 1	0				△ 2	△ 3	△ 46
※ 計	262	46	1	△ 25	4	5	△ 2	△ 19	△ 2	8	270

※ 分析手法が前期との率による比較のため、各セグメントの利益の増減要因の変動費と小計(国内・海外)・総計は一致しません。
従いまして「調整額」を加味しています。

6 為替レートの前提及び比較 単位:円

単位	使用通貨国	円換算 ① 2011/1～6月期中平均	円換算 ② 2012/1～6月期中平均	変動率 =②/①	円換算 ③ 2012/1～12月予想レート
ＵＳＤ	米国	82.04	79.74	97.2%	78
ＭＸＮ	ﾒｷｼｺ	6.90	6.03	87.4%	6
ＨＫＤ	香港	10.54	10.28	97.5%	10
ＣＮＹ	中国	12.54	12.63	100.7%	12
ＥＵＲ	欧州	114.98	103.45	90.0%	100
ＲＵＢ	ﾛｼｱ	2.87	2.62	91.3%	2.5
ＢＲＬ	ﾌﾞﾗｼﾞﾙ	50.32	42.90	85.3%	42
ＴＨＢ	ﾀｲ	2.70	2.56	94.8%	2.5

7 持分法投資損益 （6ヵ月間実績 ） 単位:億円

会社名	拠点国	持分比率	投資損益 2011/ 9	投資損益 2012/ 9
ﾆｯｼﾝ･ｱｼﾞﾉﾓﾄ･ｱﾘﾒﾝﾄｽ LTDA.	ﾌﾞﾗｼﾞﾙ	50.00%	5	6
ﾀｲﾌﾟﾚｼﾞﾃﾞﾝﾄﾌｰﾄﾞ CO.,LTD.	ﾀｲ	20.48%	1	3
ﾏﾙﾍﾞﾝﾌｰﾄﾞ･ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ LTD.	ﾛｼｱ	33.50%	△ 4	△ 0
持分法投資損益 計			2	9

※海外事業会社は
1～6月の業績の
寄与になります。

	A 8		連結貸借対照表の増減		

8 連結貸借対照表の増減

単位:億円

連結貸借対照表	2012/3月末	2012/9月末	増減額	増減要因
資産の部				
流動資産				
現金及び預金	676	573	△ 103	有形固定資産取得等による減少
有価証券	108	69	△ 39	
商品及び製品	97	105	8	
その他	637	588	△ 50	売掛債権の減少
流動資産合計	1,518	1,334	△ 184	
固定資産				
有形固定資産	1,264	1,300	36	
無形固定資産	39	36	△ 3	
投資その他の資産	1,326	1,383	57	出資金や関連会社株式の増加
固定資産合計	2,629	2,719	90	
資産合計	4,147	4,053	△ 94	
負債の部				
流動負債				
支払手形及び買掛金	449	400	△ 48	
未払法人税等	68	42	△ 27	
その他	392	352	△ 40	
流動負債合計	909	794	△ 115	
固定負債				
長期借入金	129	124	△ 4	
退職給付引当金	95	86	△ 8	
その他	149	147	△ 2	
固定負債合計	372	357	△ 15	
負債合計	1,281	1,151	△ 130	
純資産の部				
株主資本				
資本金	251	251	－	
資本剰余金	484	484	－	
利益剰余金	2,471	2,495	23	
自己株式	△ 219	△ 218	1	
株主資本合計	2,988	3,012	24	
その他の包括利益累計額				
その他有価証券評価差額金	44	41	△ 3	
為替換算調整勘定	△ 155	△ 144	11	
その他	△ 73	△ 73	－	
その他の包括利益累計額合計	△ 184	△ 176	8	
新株予約権	7	9	2	
少数株主持分	56	57	1	
純資産合計	2,867	2,902	35	
負債純資産合計	4,147	4,053	△ 94	

※記載金額につきましては、億円未満を四捨五入して表示しております。

A 9		主要経営指標			

9 主要経営指標

【単位:百万円/%】

決算年月		年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2012
		期末	2007/9	2008/9	2009/9	2010/9	2011/9	2012/9	2013/3（計画）
		単位							
売上高		百万円	189,734	174,412	178,513	175,831	180,034	178,398	400,000
(伸率)		%	24.4	△ 8.1	2.4	△ 1.5	2.4	△ 0.9	5.1
売上原価		百万円	95,745	97,381	98,699	95,230	101,668	100,300	223,700
売上原価率		%	50.5	55.8	55.3	54.2	56.5	56.2	55.9
広告宣伝費比率		%	3.2	3.4	3.8	4.1	3.1	3.1	2.8
物流費比率		〃	5.7	6.1	5.8	6.0	6.2	5.9	5.9
拡促費比率		〃	25.0	15.8	15.7	16.8	16.3	17.9	17.9
営業利益		百万円	11,320	11,526	12,395	14,379	12,033	8,897	27,000
営業利益(年金控除前)		〃	11,246	14,818	16,388	12,369	11,989	9,262	27,800
売上高営業利益率		%	6.0	6.6	6.9	8.2	6.7	5.0	6.8
経常利益		百万円	14,496	13,754	15,750	15,268	13,215	11,124	30,000
四半期(当期)純利益		〃	5,478	5,716	10,417	9,520	10,619	6,203	19,000
包括利益		〃	―	―	―	4,437	13,096	7,095	―
純資産額		百万円	291,745	287,582	281,099	272,774	285,580	290,175	―
総資産額		〃	407,339	396,982	404,722	407,707	407,293	405,277	―
自己資本比率		%	69.9	70.9	67.9	65.4	68.6	70.0	―
営業活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ		百万円	8,790	12,937	17,488	5,518	8,809	6,727	―
投資活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ		〃	△ 15,185	△ 23,197	1,846	△ 5,870	△ 7,052	△ 16,945	―
財務活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ		〃	△ 2,137	△ 3,652	△ 19,693	△ 1,086	△ 5,688	△ 4,284	―
1株当たり純資産	BPS	円	2,330.83	2,301.11	2,374.82	2,410.45	2,535.61	2,573.89	―
1株当たり四半期(当期)純利益	EPS	〃	44.81	46.76	88.78	86.03	96.05	56.30	172.46
中間配当金		円	25	25	25	35	40	40	75
設備投資		百万円	3,963	5,940	8,525	21,789	10,260	11,300	19,000
減価償却費		〃	3,644	3,704	4,279	5,407	7,035	6,956	14,500
試験研究費		〃	1,758	1,639	1,853	2,076	2,158	2,134	―

※ 記載金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

1. 期末発行済株式数は自己株式数を除いております。

2. 上記数値は2007年度までは半期報告書ベース、2008年度以降は四半期報告書ベースで記載しております。

下記の当社HPサイトにおきまして、2012年3月期までの10年分の貸借対照表・損益計算書(通期)をExcel形式でダウンロードいただけますので、どうぞご利用下さい。[54KB]

http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/ir/library/download/index.html

2013年3月期（2012年度）

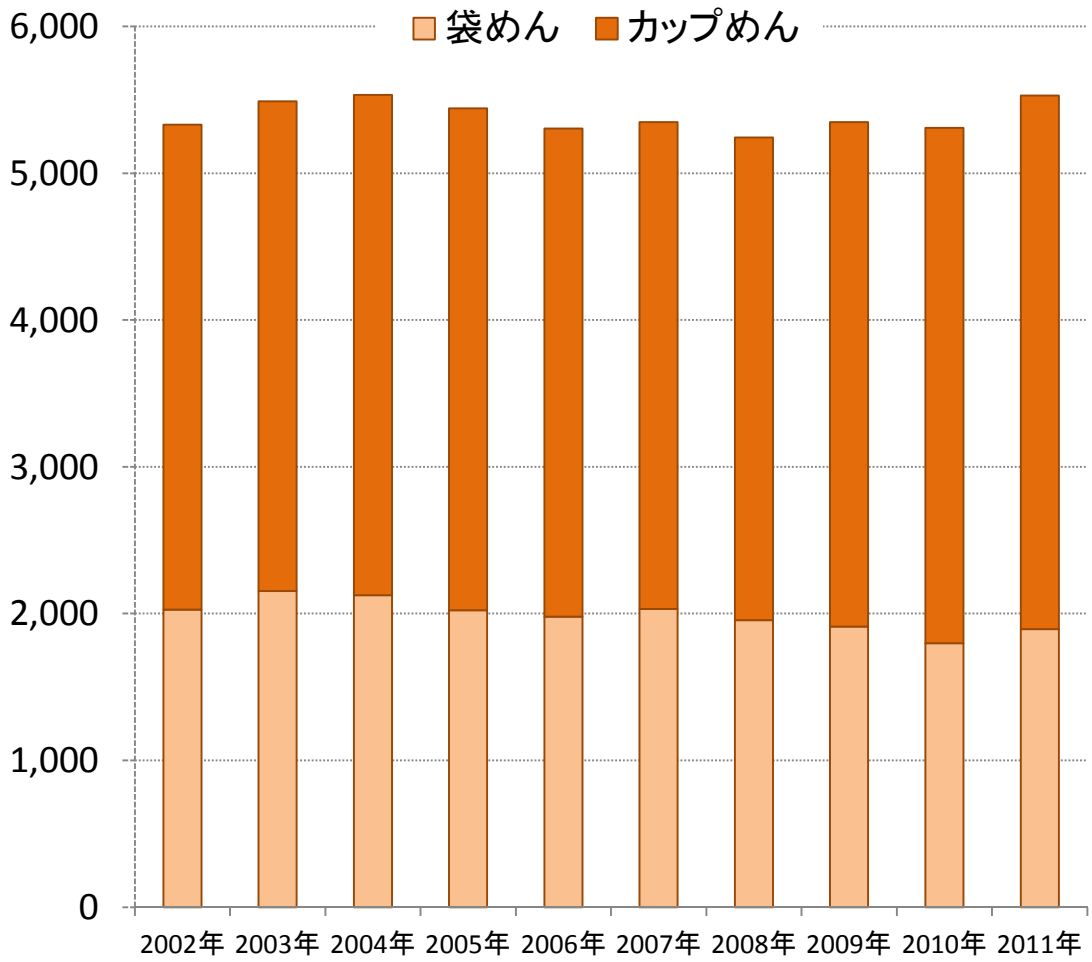
中間決算

B. 即席めん業界資料

	B	1		国内即席めん類の総生産量推移(2002/3～2011/3:10年間)		26
	B	2		国内即席めん類の総生産数量・総生産額推移(2012/4～2012/9)		27
	B	3		世界の主要即席めん市場(2009-2011年度) （※1-12月期の集計）		28

	B　1		国内即席めん類の総生産量推移（2002年～2011年：10年間）		

【百万食】



（単位：百万食）

年度	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
袋めん	2,027	2,153	2,124	2,023	1,979	2,031	1,955	1,911	1,799	1,895
カップめん	3,304	3,337	3,408	3,419	3,327	3,319	3,290	3,438	3,510	3,635
合計	5,331	5,490	5,533	5,442	5,305	5,349	5,245	5,349	5,309	5,530

【出所】日本即席食品工業協会　（http://www.instantramen.or.jp）

年間の数量は4～3月ベースです。

B 2 国内即席めん類の総生産数量・総生産額推移（2012/4～2012/9）

【袋めん・カップめん合計】 （単位：百万食、%、百万円）

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
JAS受検数	2012年度	385	315	275	306	306	353							1,940
	前年度	439	336	309	260	284	357							1,985
	前年比	87.6	93.9	88.8	117.9	107.7	98.9							97.7
非JAS受検数	2012年度	89	75	59	75	69	66							433
	前年度	142	111	76	60	73	77							540
	前年比	62.8	67.4	77.6	124.0	95.2	84.8							80.2
ドライ総需要	2012年度	474	390	334	381	376	419							2,373
	前年度	581	447	386	320	357	434							2,525
	前年比	81.6	87.3	86.6	119.0	105.2	96.4							94.0
生タイプ総需要	2012年度	11	12	10	15	13	8							70
	前年度	17	13	13	15	11	11							80
	前年比	68.2	95.3	78.5	97.9	116.8	77.9							88.1
総生産数量（百万食）	2012年度	485	402	344	396	389	427							2,444
	前年度	598	459	399	335	369	445							2,605
	前年比	81.2	87.5	86.3	118.0	105.5	96.0							93.8
総生産額（百万円）	2012年度	48,150	39,984	34,625	39,835	38,755	42,066							243,416
	前年度	57,833	45,132	39,432	33,258	36,564	43,792							256,011
	前年比	83.3	88.6	87.8	119.8	106.0	96.1							95.1

【袋めん】 （単位：百万食、%、百万円）

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
JAS受検数	2012年度	131	111	86	98	110	131							667
	前年度	152	109	97	84	85	129							657
	前年比	86.5	101.5	88.4	116.5	129.2	101.2							101.5
非JAS受検数	2012年度	17	11	13	16	11	14							81
	前年度	60	41	27	20	26	17							191
	前年比	28.0	26.9	46.3	80.9	43.6	79.4							42.6
ドライ総需要	2012年度	148	122	98	114	122	145							749
	前年度	212	151	124	104	111	147							848
	前年比	70.0	81.0	79.2	109.7	109.5	98.6							88.3
生タイプ総需要	2012年度	9	11	9	14	11	7							62
	前年度	14	10	11	12	10	9							68
	前年比	66.6	101.8	80.2	108.9	111.2	81.4							90.9
総生産数量（百万食）	2012年度	158	133	108	127	133	152							810
	前年度	226	161	136	116	121	156							916
	前年比	69.8	82.4	79.3	109.6	109.6	97.6							88.5
総生産額（百万円）	2012年度	11,210	9,599	7,805	9,399	9,720	10,822							58,556
	前年度	15,960	11,391	9,743	8,467	8,749	11,046							65,358
	前年比	70.2	84.3	80.1	111.0	111.1	98.0							89.6

【カップめん】 （単位：百万食、%、百万円）

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
JAS受検数	2012年度	253	205	189	208	196	222							1,273
	前年度	287	227	212	176	199	227							1,328
	前年比	88.2	90.2	89.0	118.5	98.5	97.7							95.8
非JAS受検数	2012年度	72	63	47	59	58	52							351
	前年度	82	69	49	41	48	60							349
	前年比	88.2	91.6	94.9	144.8	122.9	86.4							100.8
ドライ総需要	2012年度	326	268	236	267	254	274							1,625
	前年度	369	296	262	217	246	287							1,677
	前年比	88.2	90.5	90.1	123.5	103.2	95.3							96.9
生タイプ総需要	2012年度	2	1	1	1	2	1							9
	前年度	2	2	2	3	1	2							12
	前年比	77.7	65.5	66.4	49.6	173.0	61.9							72.8
総生産数量（百万食）	2012年度	328	269	237	269	256	275							1,634
	前年度	372	298	263	219	247	289							1,689
	前年比	88.1	90.3	89.9	122.5	103.5	95.1							96.7
総生産額（百万円）	2012年度	36,940	30,385	26,820	30,436	29,035	31,244							184,860
	前年度	41,873	33,741	29,689	24,791	27,814	32,746							190,653
	前年比	88.2	90.1	90.3	122.8	104.4	95.4							97.0

【出所】 日本即席食品工業協会

（注）・JAS数量とは、JAS（日本農林規格）の認定工場の生産数量を集計したものです。
・総生産額については、メーカー出荷額ベースとしています。

B 3	世界の主要即席めん市場（2009-2011年度）　（※1-12月期の集計）		

地域	国名		人口（百万人）	GDP（10億ドル）	一人当たりGDP（ドル）	総需要（億食） 2009年	2010年	2011年	一人当たり消費量／年	当社進出状況（設立・関連会社・進出年月）（即席めん事業のみ）
ア	日本（Japan）		128.1	5,054	42,983	53.4	52.9	55.1	43.0	明星食品('06/12)
	中華人民共和国（PRC）		1,341.3	5,739	4,354	408.6	423.0	424.7	31.5	珠海市金海岸永南食品有限公司 ('93/7) 廣東順徳日清食品有限公司 ('94/11) 上海日清食品有限公司 ('95/2) 今麦郎日清食品（旧：華龍日清食品）有限公司 ('04/6)※資本参加
	香港（Hong Kong）		7.1	224	31,824					日清食品有限公司 ('84/10) 永南食品有限公司 ('89/3)
ジ	インドネシア（Indonesia）		239.9	707	2,949	139.3	144.0	145.3	60.6	P.T.ニッシンマス ('92/6)
	韓国（Republic of Korea）		48.2	833	21,052	34.8	34.1	35.9	74.5	
	フィリピン（Philippines）		93.3	200	2,140	25.5	27.0	28.4	30.5	ニッシン・ユニバーサル・ロビナCORP. ('94/8)
	ベトナム（Vietnam）		87.8	104	1,183	43.0	48.2	49.0	55.8	ニッシンフーズ ベトナムCO.,LTD('11/3)
	タイ（Thailand）		69.1	319	4,613	23.5	27.1	28.8	41.7	ニッシンフーズ（タイランド）CO.,LTD. ('94/1) タイプレジデントフーズPUB.CO.,LTD.('06/12)
	台湾（Taiwan）		22.2	430	18,569	8.2	7.8	7.6	34.2	
	マレーシア（Malaysia）		28.4	238	8,373	12.0	12.2	13.2	46.5	
	インド（India）		1,224.6	1,722	1,406	22.8	29.4	35.3	2.9	インドニッシンフーズLTD. ('90/5)
	カンボジア（Cambodia）		14.1	–	–	2.4	3.3	2.6	18.4	
	シンガポール（Singapore）		5.1	223	43,783	1.2	1.2	1.3	25.6	日清シンガポール ('70/9)
ア	ミャンマー（Myanmar）		48.0	–	–	2.1	2.4	2.4	5.0	
	ネパール（Nepal）		30.0	16	535	5.9	7.3	8.2	27.4	
	バングラデシュ人民共和国（People's Republic of Bangladesh）		148.7	100	670	0.6	0.9	1.0	0.7	
	アジア 計		–	–	–	783.3	820.8	838.8	–	
北	アメリカ（USA）		310.4	14,447	46,546	40.8	39.6	40.3	13.0	ニッシンフーズ(U.S.A.)CO.,INC. ('70/7) MYOJO U.S.A.,INC.('91/4)
米	カナダ（Canada）		34.0	1,577	46,361	2.0	2.1	2.1	6.2	
	北米 計		–	–	–	42.8	41.7	42.4	–	
中	メキシコ（Mexico）		113.4	1,032	9,101	8.6	8.3	8.5	7.5	ニッシンフーズ メキシコ S.A. DE C.V. ('05/10)
南	ブラジル（Brazil）		194.9	2,089	10,716	18.7	20.0	21.4	11.0	ニッシン・アジノモト アリメントスLTDA. ('75/5)
米	コスタリカ共和国(Costa Rica)		4.7	–	–	0.2	0.2	0.1	4.7	
	中南米　計		–	–	–	27.5	28.5	30.0	–	
欧	イギリス（UK）		62.0	2,254	36,327	2.6	2.6	3.0	4.8	
	ドイツ（Germany）		82.3	3,280	39,857	1.8	1.8	1.8	2.2	ニッシンフーズGmbH ('93/2)
	フランス（France）		62.8	2,560	39,546	0.4	0.4	0.5	0.8	
	ベルギー（Belgium）		10.7	469	43,815	0.1	0.2	0.1	0.9	
	オランダ（Netherlands）		16.6	779	46,910	0.2	0.2	0.1	0.6	
	ロシア（Russia）		143.0	1,480	10,351	21.4	19.0	20.6	14.4	ﾏﾙﾍﾞﾝﾌｰﾄﾞﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽLIMITED ('09/1)
	ウクライナ(Ukraine)		45.4	138	3,035	5.2	5.4	5.4	11.9	ﾏﾙﾍﾞﾝﾌｰﾄﾞｳｸﾗｲﾅLLC ('09/1)
	東欧	ポーランド（Poland）	38.3	469	12,263	3.0	3.0	3.0	7.8	
		ハンガリー（Hungary）	10.0	129	12,884	0.2	0.2	0.2	2.0	ニッシンフーズKft. ('04/4)
		チェコ（Czech）	10.5	198	18,839	0.5	0.5	0.5	4.8	
州	北欧	デンマーク（Denmark）	5.6	310	55,830	0.1	0.2	0.2	3.6	
		スウェーデン（Sweden）	9.4	459	48,906	0.0	0.0	0.2	2.1	
		フィンランド（Finland）	5.4	239	44,502	0.2	0.2	0.2	3.7	
	欧州　計		–	–	–	35.7	33.7	35.8	–	
そ	オーストラリア（Australia）		22.3	1,272	57,119	2.7	2.7	2.8	12.6	
	ニュージーランド（New Zealand）		4.4	141	32,372	0.7	0.7	0.7	16.1	
	南アフリカ（South Africa）		50.1	364	7,255	0.9	0.9	1.0	2.0	
	サウジアラビア（Kingdom of Saudi Arabia）		27.4	435	15,836	–	5.6	5.9	21.5	
の	カザフスタン（Kazakhstan）		16.0	–	–	1.2	1.2	1.2	7.5	
	パキスタン（Pakistan）		173.5	174	1,003	1.1	1.1	1.2	0.7	
	ウズベキスタン（Uzbekistan）		27.4	–	–	0.9	1.0	1.1	4.0	
他	エジプト（Egypt）		81.1	–	2,654	0.6	0.7	0.9	1.1	
	ナイジェリア(Nigeria)		158.4	196	1,240	16.0	16.7	17.9	11.3	
	トルコ（Republic of Turkey）		72.8	734	10,095	–	–	–	–	日清ユルドゥズ ('12/9)
	その他		–	–	–	8.4	3.1	2.2	–	
	その他　計		–	–	–	32.5	33.7	34.9	–	
	総　合　計		–	–	–	921.8	958.4	982.0	–	

【 主な参考資料 】
※ 人口 ： 国連HPを参照。
※ GDP・一人当たりのGDP ：「世界の統計2012(総務省統計局)」を参照。
※ 総需要 ： WINA（World Instant Noodles Association)を当社にて参照。http://instantnoodles.org/jp/
※ 一人当たり消費量 ： 人口と2011年の総需要に基づき算出しています。

MEMO

日清食品ホールディングス株式会社

（2897）

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場の大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

＜ お問い合わせ先 ＞
日清食品ホールディングス株式会社 財務本部 IR室
〒160-8524 東京都新宿区新宿6-28-1
TEL：(03)3205-5027　FAX：(03)3205-5019